

# キーワードは 何としても生き残る！

～命の危機・経営の危機に直面したとき～



事故の内容	ロールベラーに腕を巻き込まれる
事故の原因	牧草畑でトウィンが巻きつけ中に切れたため、左のトウィンに注意していたところ右腕がロールに巻き込まれる
けがの状況	右腕(上腕部中位)切断

酪農経営者を襲った機械のはさまれ事故  
乳牛三〇〇頭、飼料畑二〇ヘクタールを経営する男性(70代)が、牧草畑でロールベラー(刈り取った干し草や稲わらなどを圧縮・梱包する機械)を操作していたところ、トウィン(草やわらなどを結束するヒモ)が切れ、右腕がロールに巻き込まれました。男性は即座に残った作業着の腕部分で止血し、妻に電話で救急車を要請。右腕は失ったものの一命を取りとめました。「危機に直面したとき、「何としても生き残る!」という意識をもてるかどうかが明暗を分ける」と話しています。

## 農機に巻き込まれ 右腕切断の大けが

生命の危機 経営の危機 厳しい状況を生き残る信念

男性は切断された腕の再接着を早々に断念し、全治一か月での現場復帰を選択。後遺症は多少あるものの、「けがによって一旦立ち止まり考える時間を得た。飼料高騰など酪農家にとって厳しい経営環境だが、何としても生き残るという信念が芽生えた」と語ります。

と同時に「安全を重視した作業環境の整備が必要である」とを痛感した」という男性は、けがをきっかけに経営デザインを再検討。牧場内を総点検し、ハンディキャップがあっても作業できる環境づくりに取り組みました。専門家は「機械の修理点検はもちろんのこと、日頃から作業場の整理整頓を徹底することが事故率の低下に直結する」と話します。



巻き込まれ事故が多発しています

じやがいも収穫中 つまづいた拍子に...

ジャガイモ農家の男性(60代)が、トラクターけん引式のジャガイモ掘り取り機を走らせながら歩いて操作中、つまづいた際に右手をロール部分に巻き込まれました。両手と顔に裂傷を負い、二か月の入院とリハビリを余儀なくされています。

コンバインの手こぎ中 手袋が巻き込まれ...

コンバインの脱穀部に稲わらを投入していた農家女性(60代)の右手袋がフィードチェーンに巻き込まれ、中指と薬指を複雑骨折する事故がありました。

バキュームカーの接合部に 防寒着のすそが...

畜産農家の男性(30代)が家畜ふん尿用バキュームカーの吸排切替レバーを操作中、防寒着のすそが機体と動力を接合する部分に巻き込まれ、全身を地面に叩きつけられました。左肋骨・左肩甲骨骨折、左上腕複雑骨折、頸椎一部欠損、左上腕剥皮創の重傷を負い、現場への復帰までに一年以上を要したとのこと。

### 巻き込まれ事故の予防と対策

- ・巻き込まれやすい服装は危険!
- ・とくに手袋は要注意!
- ・点検・整備・清掃時はエンジン停止!
- ・機械の操作は適切な距離と位置で!



イラスト/大山きいろ ©kosepro

回転ベルトのゴミを取り除こうとして... 稲作農家の男性(60代)がコンバインの暖気運転・注油・清掃作業中、回転ベルト付近のゴミを取り除こうとして作業手袋のまま右手を伸ばしたところベルトとプリー(動力伝達部分)の間に巻き込まれました。右手小指骨折と爪欠損で完治まで一か月半を要しています。

安全第一

